

「聞こえ」をもっと楽しもう

ミミコト

Vol.7 2013 SPRING



「聞こえやすい環境をつくることは、
介護施設において、とても大切なことなんです」

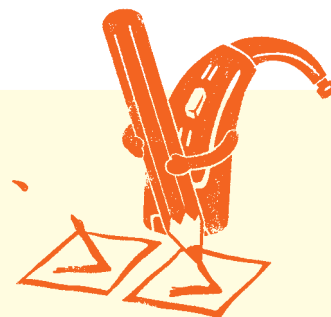
おかわ
しょうじ
大川 彰治さん

大川彰治さん、38歳。グループホームむつみ苑（愛知県日進市）の苑長を務めています。介護が必要な方が安心して「ふつうの暮らし」を送れる家庭的な環境を提供するため、むつみ苑ではさまざまな視点から施設・サービスを充実させています。「音環境の改善もそのひとつ」。「難聴者の方は不適切な音環境では「コミュニケーションをとりにくく、ストレスを感じます。だから音環境の改善は精神的な安定につながり、生活の質を高めることにも役立ちます」。フォナックのDSF※システム（線音源スピーカー+ワイヤレスマイク）を導入したのも満足感のある生活を送ってほしいという想いから。このシステムがむつみ苑にどんな変化をもたらしたのか。大川さんに伺いました。（中面へ続く）

PHONAK
life is on



補聴器アンケートで、
わかったこと。



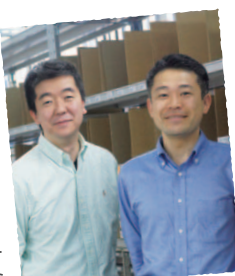
日本は、
補聴器後進国？

今回は「JapanTak2012」という難聴・補聴器のアンケート調査についてご紹介します。対象者は15036人で、これほど大規模な調査は日本初、いろいろ興味深いことがわかっています。

たとえば日本の難聴者の補聴器使用率は14・1％。欧米先進国（独34・0％、英41・1％、仏30・4％、米24・6％）と比べるとすくく低い。補聴器の利点がまだ伝わっていないのかもしれない。その一方で、すでに補聴器を使っている方はその良さを実感しているみたいです。仕事を持っている補聴器使用者への質問では88％の方が「仕事の上で補聴器が役立っている」と回答し、補聴器非所有の難聴者と比べて「出世・適切な仕事・高い報酬を得るためにも補聴器が役立つ」と考えていることがわかりました。

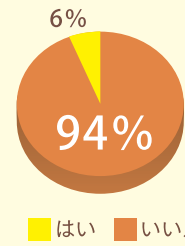
知られていない
購入の「公的補助」。

今回の調査では補聴器に関して認知されていない事例もわかりました。そのひとつが「公的補助」。補聴器非所有者で、購入の際に受けられる公的補助のことを知っているのは、わずか6・3％でした。障害者



左から石本、北田

自立支援法には、難聴の程度に応じた補聴器購入を補助する制度があります。補助の内容は市区町村によって異なります。器の使用をお考えの方はお住まいの市区町村の福祉事務所、福祉課窓口にお問い合わせみてください。



Q.
補聴器の購入に際し何らかの公的補助を受けられる制度があることを知っていますか？

※9割以上の方が認識していません。

「フォナック オリジナルノートブック」プレゼント！



おしゃれな「サウンドスケープ」がカバーに！

右のハガキに、ミミコトの感想・ご意見、あなたのお名前、ご住所を記入しポストへ投函ください。抽選で20名様に「フォナック オリジナルノートブック」をプレゼントいたします。

（応募締切）2013年8月末日
※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。
●お寄せいただいた個人情報は、賞品の発送のためにのみ利用します。

右のハガキでご応募ください。➡

新機能「風の中でのことば」、「オートステレオズーム」を搭載*。
フォナック バート（耳あな型）、フォナック ボレロ（耳かけ型）、登場。



クエストシリーズ（耳あな型）
フォナック バート

クエストシリーズ（耳かけ型）
フォナック ボレロ

*：Q90のみとなります。※「フォナック補聴器総合カタログ」もご覧ください。

【発行】

スイスのデジタル補聴器
フォナック
www.phonak.jp

製造販売業：フォナック・ジャパン株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田
TEL:0120-06-4079（お客様相談窓口）
FAX:0120-23-4080

（2013.05）



おかげさまで10周年

郵便はがき

141-8790

105

東京都品川区西五反田5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田 10F
フォナック・ジャパン株式会社
「ミミコトプレゼント」係 行

フリガナ	性別	年齢
お名前	男	歳
様	女	市 区 郡
〒	都 道 府 県	市 区 郡
ご住所		

ご応募いただいた方の「フォナック オリジナルノートブック」プレゼント
中から抽選で

アンケートにご協力ください。

●今号の「ミミコト」で面白かった記事に☑をつけてください。

☐ スペシャルインタビュー ☐ 補聴器ワンポイントアドバイス
☐ バードリスニングを楽しもう ☐ ほのぼのフォナックくん
☐ 毎日イキイキおいしい一皿 ☐ ご存知ですか？FMシステム
☐ PHONAK LETTER ☐ それ、私たちがお届けしています

その他、感想、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。

●お寄せいただいた個人情報は、賞品の発送のためにのみ利用します。

スペシャルインタビュー

「みんなに聞こえる。みんなに伝わる。その喜びを共有共感できるのがいいですね」



「体操の時間に使ったのが、導入のきっかけだそうですね。」

ええ、ボランティアで来てくださった体操の先生の声が、利用者様に少しでも聞こえるようにと思い、デモ機をお借りしたのが最初です。それまでは職員が付き添って、先生の指示を耳元で伝えるという形だったのですが、DSFシステムを使うと、先生の声はマイク、線音源スピーカーを通してリビングの全体に届くので、利用者様もどこに座っていても聞こえやすく、反応よく動作されるようになりました。

複雑なシステムではないので簡単に移動して、その場の音環境を効果的に改善できます。たとえばテレビ。手前の人に比べて後ろの人は聞こえにくいですね。それで、どうしても音量を上げがちになるのですが、このスピーカーを置いてからそういうことがピタッとなくなりました。レクリエーションでも活用しています。ワイヤレスマイクが使えるので利用者様一人ひとりに順にお渡しして、ちよつと緊張しながら自己紹介をしていただいたり、クイズに答えていただいたり。すると、すごく盛り上がるんですね。それはよく聞けるだけでなく、自分



▲大川さんと職員の皆さん。

を伝える喜びを感じることができ、しかも、その楽しさをみんなで共有共感できるからなんです。部屋

にこもっていた方も楽しそうだと出てこられたり。皆さん、いつも以上に生き生きとした表情を見せてくださるようになりました。

「むつみ苑の今後の取り組みについて教えてください。」

うちのすぐ向かいにある日進中学校では、体験学習や吹奏楽部の演奏会で年に何回か施設に生徒の皆さんが来てくれます。地域に根ざした施設になるために、そうした関わりを自然な形で増やしていきたいですね。また、インフォーマルな部分で地域にどう貢献できるかを模索しています。ボランティアの方々などとの交流を重ね、社会資源を最大限に活かせるような地域ネットワークを構築することを自分の目標として取り組んでいきたいと思っています。

おおかわ しょうじ
大川 彰治さん

グループホームむつみ苑代表。愛知県出身。大学時代、建築写真を撮るために始めたカメラが趣味。苑長ブログ(<http://blog.goo.ne.jp/mutumien>)には生き生きとした生活をとらえた大川さんの写真が掲載されている。

※DSF:Dynamic SoundField(ダイナミックサウンドフィールド) 音を水平方向に飛ばす「線音源スピーカー」と「マイク」によって、明瞭な声を空間の後方まで届けるシステム。

質問
補聴器と集音器、なにが違うの？

答え

補聴器は「医療機器」、製造や販売にきびしい制約や条件があります。

補聴器と集音器、見た目は似ていますが、実は大きな違いがあります。補聴器は薬事法で定められた管理医療機器です。だから、安全性などについて一定の基準が設けられています。難聴者の聞こえに合わせて細かい調整ができる機能が搭載されており、また販売も対面販売を義務付けられています。

一方、集音器は医療機器ではありません。調整を前提としていないため、通信販売や一般の電機店でも販売されています。簡単にご説明しましたが、購入をお考えの場合、両者の違いをしっかりと理解することが大切です。



新緑に包まれて、爽やかに。

「バードリスニング」を楽しもう。

春うつらかな行楽シーズン。緑まぶしい森林でバードリスニングを楽しむのはいかがでしょうか。双眼鏡などの道具は何もいりません。ただ、自然の中でゆったりと耳を澄ませばオーケー。そうすると、ほら、鳥たちの美しいさえずりがどんどん聞こえてきます。大自然の中で、感覚を研ぎ澄ますひととき。新しい発見が、きっとたくさんありますよ。



❗ 葉の生い茂るこの季節は、鳥の姿を観察するのはちょっと大変。でも、鳥たちは姿の見えない相手と声でコミュニケーションをとるため「バードリスニング」なら、初心者でも簡単に楽しめます。

春～夏に出会える、さえずりの美しい「日本三鳴鳥」。

♪コマドリ

鳴き声は「ヒンカララ」。馬(駒)のいななきのように聞こえることが、和名の由来だそう。

♪ウグイス

「ホーホケキョ」の鳴き声で有名。早春からさえずりはじめ、「春告鳥」の別名もあります。

♪オオルリ

「ピリーリー」などさまざまな鳴きのいななきのように聞こえることが、和名の由来だそう。

ご存知ですか？
FMシステム⑦



▼こんにちは。FMシステム担当のらっしーです。新学期が始まり、難聴のお子さんをお持ちの親御さんは学校の音環境が気になるところでは。教室って意外と騒がしいですからね。そこで役立つのがFMシステム。離れている先生の言葉が聞き取りやすくなります。ぜひ一度、その聞こえを体験してみてくださいませ

た、FMシステムは自立支援法の対象機器になっております。▼FMシステムをお使いのお子さんたち10人の声をまとめた「FMストーリー」という冊子を作りました。FMシステムの入手方法も紹介していますのでメール(JP-PHF-M@phonak.com)でお気軽にお申し込みください。



≫「FMブログ」やってます！ <http://phonakfm.blogspot.com/>